

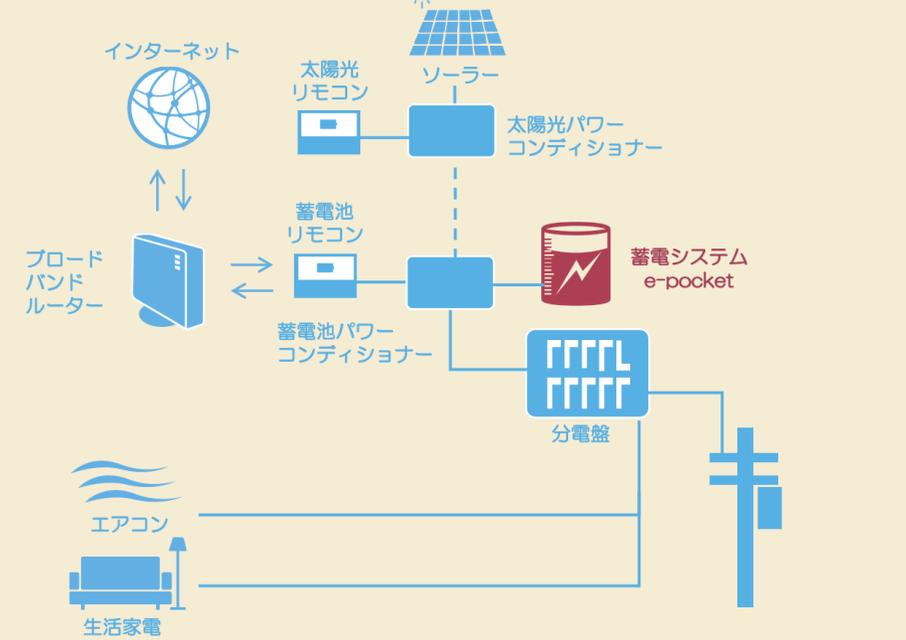


蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド①

普段の生活

ファミエス版ニチコン製
単機能 4kWh 家一部仕様

■システム全体像

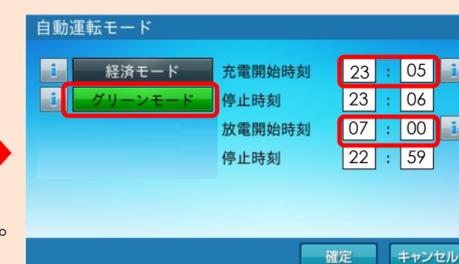


運転モードと充放電時間の変更方法

●通常の運転では、下記のどちらかのモードを選びます。充放電時間を調整することができます。

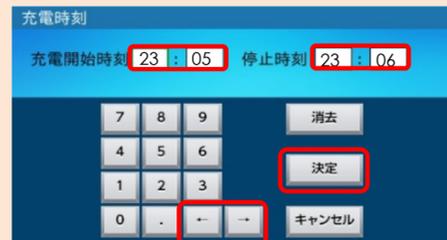
	経済モード	グリーンモード
	割安な深夜電力を充電。朝～夕の電力使用量が多い時間に放電することで電気料金を節約。	おもに太陽光発電の電力を充電。その電力を使うことで環境にやさしい暮らしを実現。卒Fitの方におすすめ。
充電時間 (蓄電池へ電気を貯める時間帯)	契約電力プランの深夜時間	電力会社から買電して充電する時間 設定:最低限の時間(例:23:05-23:06)
放電時間 (蓄電池から電気を使う時間帯)	充電時間以外	契約プランの深夜時間以外 (例:7:00-22:59)

●「モード」の設定方法 ※ 変更方法は 経済モード・グリーンモード共通です。

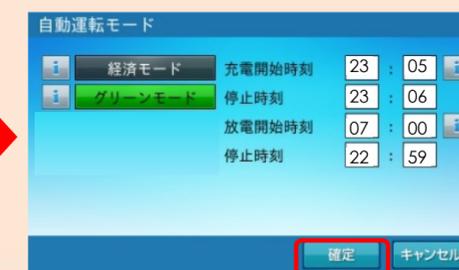


③運転モードが選択したモードになっていることを確認(緑になります)。
④時刻部分(充電開始・放電開始)を押します。

①リモコン画面の『蓄電池』アイコンを押します。
②運転モード「自動」を押します。



⑤それぞれの時刻を下部のテンキーで入力します。→、←ボタンを押すとカーソルが移動します。上記時間に設定し、決定を押します。



⑥確定ボタンを押します。
⑦確認画面になりますので「はい」を押してください。

蓄電池リモコン画面の説明



- 電源ランプ
- 充電/放電ランプ
運転状況を、運転ランプの色で示します

緑	充電/放電
消灯	待機(充放電していない状態)
- 太陽光発電ランプ
太陽光発電中に点灯します
- 自立運転ランプ
自立運転中に点灯します
- 点検ランプ
点検コード発生中に点滅します
詳しくは取扱説明書をご覧ください

タッチパネル画面の説明

室内リモコンの画面にタッチしてさまざまな操作を行います。



- 各種設定、グラフに関する設定
(売買電力を表示しています)
- 太陽光の設定
(太陽光発電の状態を表示しています)
- 蓄電池の設定
(蓄電池の残量、充放電電力を表示しています)

※リモコン画面は、太陽光発電、蓄電池ユニットが接続されている場合を示します。

■蓄電池本体



蓄電池本体を増設して、8kWh(※)とすることが可能です。
(増設可能期間:2029年5月まで)

※カタログ値であり、実際に使える容量とは異なります。

もしもの停電に備えた設定 『非常時安心設定』

※0%、30%、40%、50%、60%、70%の設定が可能です。
(4kWhの場合、70%の設定を推奨)

●台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるとき『非常時安心設定』を70%に設定して頂くと、停電がおきても、照明、冷蔵庫、テレビ、携帯電話などが使える電力を残します。

使える家電の目安 (同時使用可能)

＜使える家電の目安＞		(同時使用可能)	
70%	LED照明(3灯30W) 1.5時間 [45Wh]	テレビ(150W) 0.5時間 [75Wh]	ルーター・TVプースター等(10W) 15時間 [150Wh]
	冷蔵庫(70W) 15時間 [1050Wh]	携帯電話(2台10W) 1時間 [10Wh]	

『非常時安心設定』 変更方法

※リモコン画面は、太陽光発電、蓄電池ユニットが接続されている場合を示します。



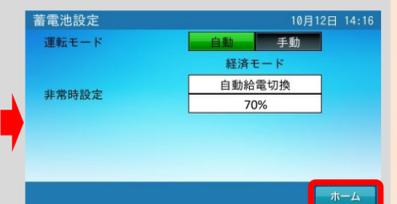
①リモコンメイン画面の『蓄電池』アイコンを押します。



②「非常時設定」の『自動給電切換』ボタンを押します。



③「非常時安心設定」の「>」「<」ボタンで「70%」(又は「OFF」)を選択し④「確定」ボタンを押します。



⑤「ホーム」ボタンを押します。



蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド②

停電時の生活

ファミエス版ニチコン製
単機能 4kWh 家一部仕様

停電時の使い方

① 停電時は、蓄電池から非常時兼用スイッチや非常時兼用コンセントへ、自動で放電します。復電時も、自動で通常の運転に戻ります。

蓄電池からの電力で、非常時兼用スイッチや非常時兼用コンセントに接続した電化製品を使用することができます。同時に使用できる電力は約1,500Wです。

家電製品の消費電力量の目安(W/台)			
テレビ:150W	冷蔵庫:70W	電話機:5W	パソコン:150W
LED照明(3灯):30W	ルーター・TVブースター等:20W		

※消費電力量は目安であり機種および動作状態により異なります



② 停電時は、太陽光発電を、自立運転モードに必ず、切替えてください。
※自動切替ではありません。

自立運転モードに切り替えることで、太陽光が発電した電力を使用することができます。復電時は再び通常運転モードに切り替えてください。

●切替え操作方法は「太陽光発電システム停電時操作ガイド」をご覧ください。

<各機器のリモコン>



<蓄電池システムが停止した場合の対応>

電気の使い過ぎで蓄電池がシステム停止した場合はリモコン画面に従い接続家電を減らし、「設定」、「運転開始」の順に押し再起動してください。蓄電池残量が残っていれば操作は可能です。



停電時の操作、蓄電池残量の確認方法



停電になると自動で蓄電池からの放電動作に切替わります。停電は、蓄電池のリモコンに「**停電時運転中**」の表示でご確認ください。

① 太陽光リモコン操作【重要:太陽が昇るまでに切替推奨】

- 太陽光発電リモコンで自立運転に**手動**で切替ください。切替えることで、太陽光の発電を蓄電池に充電できます。
- 切替え操作方法は「太陽光発電システム停電時操作ガイド」をご覧ください。

② 1)蓄電池残量と放電可能量で確認(計算による算出)



- 蓄電池リモコン画面に表示される A:蓄電池残量、B:放電量を確認します。
- 放電可能時間の算出
以下の計算式より算出します。

■放電可能時間(目安)
 $(4^{※} \times (A)93\% \div (B)1.2 = 3.1\text{時間})$
 ※ 4(kWh):蓄電池容量

2)充放電グラフで確認(グラフから読み取る)



蓄電池リモコンの「**グラフ**」を押すと蓄電池残量や充放電の傾向がわかります。

グラフの傾きより放電可能時間を予測します。(破線の矢印)

3)パナソニック製HEMSで確認(パナソニック製HEMS採用の場合)

HEMSリモコンのトップ画面に表示される放電目安時間をご確認し、家電の使用を調節ください。

※ NEC製HEMS採用の場合は上記1)、2)にて確認ください。NEC製HEMSでは、正しく表示されません。



■蓄電池残量が不足しそうな場合は予め、消費電力が大きい家電を停止してください。